

# 志津 里山自然学校 NEWS

文責：奥村 平一



## まき割体験で1日がんばる

12月3日(日曜日)寒風の吹く中、里山自然学校は小学生の親子や市役所、まち協など40名奥村さんの裏庭で10月22日に伐採した木をアイフォレストクラブの竹内さんが玉切りをし、それを2台のまき割機械や5台のキンドリングクラッカーなどを使ってグループ別に分かれて薪を作る体験が行われた。



まき割機械では機械に薪を乗せてもらった後ハンドル操作で丸太を割っていく体験、キンドリングクラッカーでは力のいる仕事なのでお母さんの手伝いも加わってハンマーで丸太を上からたたき割る体験、いずれもこの田舎でしかできない体験を親子協力の中で頑張っていた。参加者から、「まき割ではいろんな方法が見れて、また体験できてよかった。子どもたちには基調で自慢できる経験になった」やむかしの人は木を切るのは「のこぎり」、丸太を割るのは「斧」

で大変な仕事だったのに今は機械で楽しみながら簡単にできる仕事になった、木には切ってほしいところがあることを初めて知ったなど多くの感想が寄せられた。



## 木は森を育てる

井坂尚司さんは、クイズを通して木の役割を教えていた。木を燃やすとあったか〜い。木は水につけると強い。木は森を育てる。木は環境の資源(紙の原料、暖房、酸素を出し、二酸化炭素を吸ってくれる、水をため災害を防ぐなど)。木、林、森は私たちの生活と密接なかかわりを持っていることを伝えていた。



## 焚火を囲み焼き芋で舌鼓

おやつあり飲み物あり、ほくほく芋でおいしかった〜

まき割の仕事が終わった時点で「焼き芋タイム」で参加者は、「おいしいか〜」と舌鼓を打った。

昼食後は、バームクーヘンやチョコレート、飲み物が提供され焚火を囲みながらの団欒に花が咲き、感想文などを記入後「また来た〜い」と次回を期待しながら解散となった。